

諏訪・松本両信用金庫連携の「若手経営者交流会」を開催しました

諏訪信用金庫は平成 28 年 11 月 17 日、RAKO 華乃井ホテルで松本信用金庫と「若手経営者交流会」を開きました。2 つの信用金庫が仲介役となり、それぞれの金庫と取引がある企業の若手経営者が、地域の枠を越えて出会う機会を提供するもので、今回で 4 回目です。毎年交互に会場を変えて行い、諏訪市で開催した今回は諏訪から 45 社、松本から 29 社の合わせて 74 社が参加し、情報交換や商談を行いました。

交流会は回を重ねるごとに充実し、参加企業からは「取引や連携につながりそうな出会いがあった」という声が多く寄せられています。これは、単なる顔合わせではなく、事前に参加企業から商談ニーズを収集してパンフレットを配布し、商談希望企業をマッチングした上で交流会に臨む方式のため、短時間で内容が濃い商談ができるからです。事前準備から当日まで、全て両信金職員がサポートしました。

今回は製造や小売り、サービス、建設など多彩な業種の経営者が参加し、ニーズが合致する経営者同士が個別に商談しました。参加者は「感性が違う経営者と知り合うことができ、お互いの経営資源を結びつけた新たなビジネス展開ができそう」「信金職員が話を引きだしてくれて、いい出会いができた」と話していました。

若手経営者育成は、地域経済の発展や活性化につながり、金融機関が求められる「課題解決型金融」推進にとっても重要な事項です。当金庫は今後も積極的な支援をしてまいります。

